

警鐘レポート3 異所性妊娠に伴う卵管破裂による死亡

事例2

< 事例概要 >

- ・ 30歳代、自然妊娠。
- ・ 性器出血のため受診。妊娠反応陽性だが、胎嚢不明であり切迫流産と診断。4日後、性器出血が増量しエコーで胎嚢様の所見を認めたが断定は困難。数日後、自宅で「塊」が出たため再受診。胎嚢様の所見は消失しており、流産と診断。さらに数日後、腹痛があり、また検査薬で妊娠反応陽性となったため受診。経膈超音波検査で、流産後の経過と判断され帰宅。最終受診より約1週間後、自宅で倒れ搬送先で死亡確認。
- ・ 死因は、卵管破裂による出血性ショック。解剖有、死亡時画像診断（Ai）不明。